

第100期 中間報告書

2024年4月1日 ▶
2024年9月30日

日本ゼオン株式会社

証券コード 4205



TOP MESSAGE

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年9月中間決算は、シクロオレフィンポリマーおよび光学フィルムの需要回復、大型テレビ向け光学フィルムの需要堅調に加え、合成ゴムにおける原料価格高騰分の価格改定も進んだことなどから、前年同期比増収増益という結果となりました。

一方で下期にかけては、為替前提の見直しや、水島工場のシクロオレフィンポリマー合計4つの生産系列のうち、1生産系列に不具合が発生した影響等が見込まれております。拡販や収益性の改善・コストダウン、事業構造改革の推進等に注力し、挽回をはかっていきます。

引き続きのご理解とご支援を何卒よろしくお願いいたします。

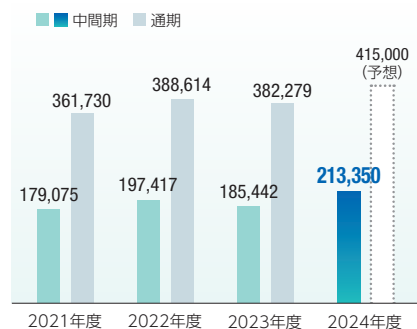


代表取締役会長
田中 公章

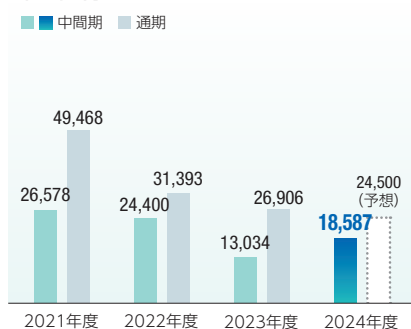


代表取締役社長
豊嶋 哲也

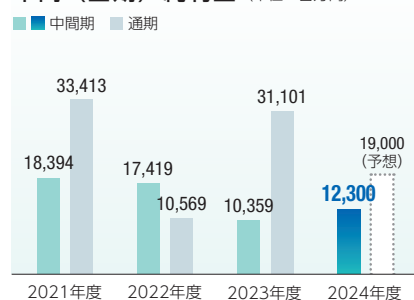
▶ 売上高 (単位: 百万円)



▶ 経常利益 (単位: 百万円)



▶ 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



株主還元

今般、中長期に当社株式を保有いただく株主のみなさまへ安定した配当を提供し、成長と還元を高い次元で両立させることを目指し、配当方針を「自己資本配当率(DOE) 4%以上」といたしました。この結果、中間配当金は1株当たり35円とさせていただきました。年間配当金金額は1株当たり70円(DOE4.1%)を予想しており、前年度比25円の増配、かつ15年連続の増配を見込んでおります。

また、実施中の自己株式取得につきましても、さらに100億円を増枠することを決定いたしました。これにより2024年度は合計200億円の自己株式取得を行うこととなります。

▶ 1株当たりの配当金 (単位: 円)



エラストマー素材事業部門

会社基盤を支える事業

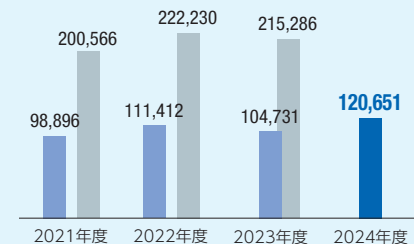


▶ 売上高

1,206億51百万円
15.2%
(前年同期比)

▶ 売上高の推移

(単位：百万円) ■ 中間期 ■ 通期



● 合成ゴム ● 合成ラテックス ● 化成品

概要

合成ゴム

原料調達先での生産トラブルおよび国内主要工場の定期修繕による減産の影響を受けたものの、海外主要工場の稼働は高水準を維持し、海外向けスポット品を中心に販売が堅調に推移しました。また原料価格高騰分の価格改定も進んだことから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

合成ラテックス

市況価格が依然として低水準で推移し、原料価格高騰分の価格改定が十分進まなかったものの、海外での衛生用手袋の在庫調整が一巡し出荷量が増加したことから、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品

粘着テープ・ラベル向けの需要回復や積極的な拡販政策により主に海外向けで出荷量が増加し、売上高は前年同期を上回りましたが、市況価格が低迷し原料価格高騰分を販売価格に転嫁することができなかったため、営業利益は前年同期を下回りました。

当事業部門全体の売上高は1,206億51百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益は60億14百万円(同65.0%増)となりました。

高機能材料事業部門

新規展開を中心とする事業

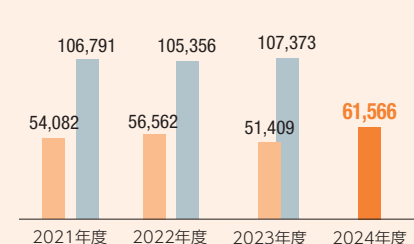


▶ 売上高

615億66百万円
19.8%
(前年同期比)

▶ 売上高の推移

(単位：百万円) ■ 中間期 ■ 通期



● 高機能樹脂 ● 電池材料 ● 化学品 ● 電子材料・トナー ほか

概要

高機能樹脂

モバイル端末向けシクロオレフィンポリマーおよび光学フィルムの需要回復、大型テレビ向け光学フィルムの需要堅調に加え、半導体市場の回復に伴い半導体容器向けシクロオレフィンポリマーの出荷量が増加したことにより、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

電池材料

モバイル端末向けの回復に加え、ESS用途向けの需要も堅調となり、売上高は前年同期を上回りました。一方、欧州を中心としたEV販売台数の急激な落ち込みによる在庫調整と中国市場における価格競争の激化により、営業利益は前年同期を下回りました。

化学品

特殊溶剤の出荷が定期修繕を行った前年同期と比較し増加したこと等から、売上高は前年同期を上回りましたが、合成香料が需給緩和による出荷量の減少および市況下落の影響を受けたこと等から、営業利益は前年同期を下回りました。

電子材料

セグメントによりばらつきはあるものの半導体市況が緩やかな回復基調となり、売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格・物流費等の高騰が影響し、営業利益は前年同期を下回りました。

トナー

プリンタ市場が堅調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、原料価格の高騰が影響し、営業利益は前年同期並みとなりました。

当事業部門全体の売上高は615億66百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は108億1百万円(同63.9%増)となりました。

その他の事業部門

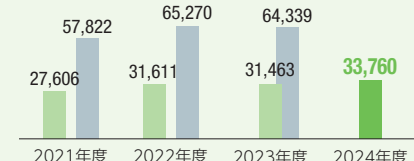


▶ 売上高

337億60百万円
7.3%
(前年同期比)

▶ 売上高の推移

(単位：百万円) ■ 中間期 ■ 通期



● RIM配合液 ● 塗料ほか

概要

子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回った結果、全体の売上高は337億60百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は14億73百万円(同5.3%増)となりました。



TOPIC 01

シクロオレフィンポリマーの
新プラント建設を決定

当社の重要戦略製品であるシクロオレフィンポリマーの新規プラントを山口県周南市に建設することを決定しました(2028年度上期竣工予定)。シクロオレフィンポリマーは優れた光学特性、低吸水性、更には不純物が非常に少ないという特長を有し、光学フィルム・光学レンズ用途だけでなく、医療用途、半導体用途での採用も拡大しており、今後も更なる需要拡大が見込まれます。今回取得した事業用地には今後も高収益製品のプラント建設を検討中であり、現在の汎用品中心の徳山工場の製品ポートフォリオを大幅に見直し、操業人員も含めた各種リソースを高収益製品の生産に移行させていく計画です。

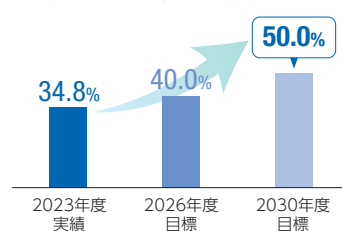


シクロオレフィンポリマー

TOPIC 02

SDGs 貢献製品
認定制度の運用を開始

当社は、化学メーカーとしての強みを生かし、事業活動を通じて様々なSDGs目標達成に貢献すべく取り組んでいます。その取り組みの一つが「SDGs貢献製品認定制度」であり、この4月から運用を開始しました。社会課題解決への貢献度や範囲、事業の持続性などを基準として、社内審査により認定する制度であり、溶液重合スチレンブタジエンゴム(S-SBR)や水素化ニトリルゴム(HNBR)等の合成ゴムやCOP、電池用バインダーなど39製品を認定しました。その2023年度の売上高に対する比率は34.8%でしたが、今後貢献製品の開発・製造・販売に一層注力し、中期経営計画「STAGE30」に掲げる2030年度目標50%の達成を目指してまいります。

▶ SDGs貢献製品
売上高比率の実績と目標

株式の状況 (2024年9月30日現在)

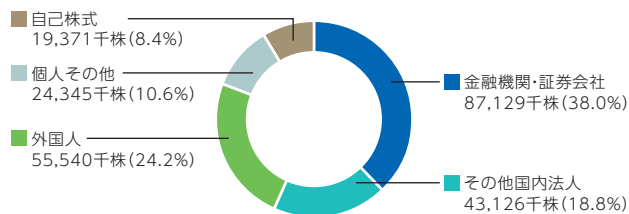
発行可能株式総数	800,000,000株
発行済株式の総数	229,513,656株
株主数	17,161名(前年度末比3,844名増)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,643	10.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	12,309	5.86
株式会社みずほ銀行	8,370	3.98
朝日生命保険相互会社	7,679	3.65
横浜ゴム株式会社	7,178	3.42
旭化成株式会社	5,043	2.40
全国共済農業協同組合連合会	4,765	2.27
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,285	2.04
農林中央金庫	4,000	1.90
日本ゼオン取引先持株会	3,922	1.87

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式19,371千株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日	毎年3月31日 (その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法	電子公告 https://www.zeon.co.jp/ (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507) 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。



各WEBコンテンツのご案内

日本ゼオンのIR情報や統合報告書等は下記のURLと二次元バーコードからご覧いただけます。

IR 情報

最新のIRニュースや個人投資家さま向けコンテンツなどはこちらからご確認ください。

<https://www.zeon.co.jp/ir/> ▶



統合報告書

「統合報告書2024」を発行いたしました。

<https://www.zeon.co.jp/ir/library/folder/> ▶



決算説明資料

四半期ごとに開催しているマスコミ・アナリスト向け決算説明会資料を公開しております。

<https://www.zeon.co.jp/ir/financial/bs/> ▶



決算説明動画

2024年度第2四半期決算説明会の内容をご視聴いただけます。

<https://webcast.net-ir.ne.jp/42052410/index.html> ▶



(2025年4月末配信終了予定)

中期経営計画説明資料

最新および過去の中期経営計画説明資料を公開しております。

<https://www.zeon.co.jp/ir/library/midtermplan/> ▶



中間配当金のお支払いについて

第100期中間配当金につきましては、同封の「中間配当金領収証」によりお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、銀行振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

1. 中間配当金 1株につき金35円
2. 取扱期間 2024年12月3日(火)から2025年1月10日(金)まで
3. 銀行振込または株式数比例配分方式をご指定でない方は、同封の「中間配当金領収証」により、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。

なお、お受け取りの際は「中間配当金領収証」裏面記載の注意書きをご覧ください。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話 03 (3216) 1772

